

8月もお盆が過ぎ、残暑になり、福岡新水巻病院が開院して2ヶ月半が経ちます。二十四時間365日救急医療・高度医療を旗頭にこの遠賀郡水巻町立屋敷の地に皆様の安心を達成すべく、日々努力致しております。

今日は医局方の先生のこの福岡新水巻病院に赴任されてからの変化と申しますか現状についてお話させていただきます。恐らくどの先生もこれまでの人生の中で最も多忙な生活を送っていると思います。消化器内科の中野先生は先月十五人の吐血の患者さんの緊急内視鏡及び止血術をされたそうです。この数は昨年一年分に相当するそうでこれから一年後が楽しみですね、中野先生！。血液内科の小川先生は少年野球の公式審判員の資格をもっているようですが、小川先生が当直をすると夜間の急患者さんが大変多くて翌朝眼が真っ赤に充血しています。ご苦労様でございます。くも膜下出血の患者さんも救急で数多く来られてますが、通常脳動脈瘤破裂が原因ですが、椎骨動脈の解離が原因のくも膜下出血の患者さんが四人も来られました。これも年間数人しかないようで大変珍しいということです。この手術も大変難しく脳血管内手術という方法で椎骨動脈に金属コイルというものを入れるそうです。脳神経外科の金先生ご苦労さまでございます。心筋梗塞の患者さんも多く、特に第1章でも書きましたが左主幹部の治療は大変難しく四人の主幹部患者さんの治療をされた渡辺副院長、車循環器科部長ご苦労さまでございます。外科チームも大変多忙で毎日二例ほどの全身麻酔を必要とする手術をされています。矢野部長、多賀医長ありがとうございます。整形外科は外来患者さんが一番多く、人気者です。待ち時間短縮のために努力いただきありがとうございます。金澤先生、古江先生、畠山先生のチームワークは最高です。クラゲに詳しい戸島形成外科部長は手の外科のスペシヤリストでどうぞご相談ください。高橋泌尿器科部長は私と同じく単身赴任者で長老ですが、体にむち打って救急に立ち向かっています。ある若い先生が言ってますが高橋先生は大学病院時代より元気で、若返って楽しそうに仕事をされているそうです。大変結構なことだと思います。

「業務連絡、コードナンバーゼロ、コードナンバーゼロ」。このアナウンスが流れると福岡新水巻病院の元気印の医局員が走ります！ 第4章

